

産科・周産母子センターに通院中の妊婦さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名]

妊娠中の交通安全指導による運転・同乗・シートベルト着用についての意識ならびに交通事故遭遇率の変化(多施設前方視的研究)

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究代表機関名・研究代表者名・所属] 森川 守 (産科・周産母子センター 准教授)

[共同研究機関名・研究責任者名]

NTT 東日本札幌病院産婦人科	西川 鑑	(主任部長)
札幌医科大学病院産婦人科	石岡 伸一	(准教授)
札幌東豊病院産婦人科	菅原 正樹	(院長)
札幌マタニティウィメンズホスピタ	高後 裕匡	(理事長)
市立札幌病院 産婦人科	平山 恵美	(副部長)
JCHO 北海道病院 産婦人科	山田 俊	(主任部長)
手稲溪仁会病院 産婦人科	福士 義将	(部長)

[研究の目的]

わが国でも核家族化や産婦人科の集約化に伴い、自身で運転し通院する妊婦が増えている。また妊婦の交通事故遭遇も増えている。前方視的に多施設でリーフレット配布(と啓発ポスター掲示)による対象への妊娠中の交通安全指導による介入研究を行い、介入効果(シートベルトの着用率上昇、後部座席着席率上昇、交通事故遭遇率減少)を評価します。

[研究の方法]

○対象となる妊婦さん

札幌市内の主要産婦人科 7 施設に妊婦健診を受診している妊娠 35-37 週の妊婦に無記名式アンケート調査を行う。

○利用するカルテ情報

カルテ情報：使用しない(無記名式アンケート調査の結果解析のみ)

アンケートについては、北海道大学病院 産科・周産母子センターに集約して解析を行います。

[研究実施期間] 実施許可日～2019年6月30日（登録締切日：2018年12月31日）

この研究について、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する妊婦さんの情報は、無記名式アンケートのため、お名前、住所など、個人を特定できる情報は記載されておりません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を特定できる情報は利用しません。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院 産科・周産母子センター

担当医師 森川 守

電話 011-706-5678(外来)/5789(病棟)/5941(医局)

FAX 011-706-7711